



# 看護部通信

2021年3月

今まで  
ありがとう  
ございました!

年度末である3月は別れの季節です。リハセンでは令和3年3月末日をもって4名の方が定年退職されます。長きにわたりご活躍された4名の方には心からの敬意とお祝いを申し上げます。また、一身上の都合で退職される方もおり寂しい限りですが、同僚として一緒に看護の仕事ができたことを嬉しく思っています。退職される皆さん、どうか健康に留意されお元気でご活躍ください。今まで本当にお世話になりました。そして、ありがとうございました。(看護管理室)



感謝を胸に!



T. S

私はプライマリーナーシングに憧れ、リハセンでモジュール型看護方式に出会えました。モジュール型看護とは、受け持ち患者を決めることで「私の患者さん」と言える明確な関係性を持ち、看護師は入院から退院までの看護に責任を持ちます。その荷は重く辛い思いもありましたが、その数百倍もの喜びを味わい、自らの看護や人としても成長させてくれるものでした。それは、決して個で成し遂げられるものではなく、モジュラグループの仲間の支えにより成り立ちます。何より憧れてしまうような看護を展開する仲間が周りにとても多かったです。その背中を追い続けながらの看護師人生でした。偶然? いや必然の出会いに感謝いたします。

お世話になりました ありがとうございます



A. H

この度、令和3年3月をもって定年退職を迎えることができました。昭和・平成・令和を看護師として働き続けてこられたのは、ひとえに私を受け入れてくださった皆さんのおかげです。兄弟姉妹の年代から、姪甥の年代と一緒に働くよう仲間が増え、今は子供たちと同年代の仲間たちにも囲まれています。

毎日が綱渡り状態の仕事と生活を支え、応援してくれた仲間と家族に感謝しています。本当に『お世話になりました』そして、心より『ありがとうございました』

これからは、皆さんが自分らしさを発揮し、ご活躍されることをお祈りしています。

人々に感謝



T. H

26年間、「あっという間だった」というのが実感です。リハセンオープンに向け準備していた冬の時期、除雪が1日の始まりだったことが昨日のこのように思い出されます。

それから20年余り、いろいろな出来事が公私ともにありました。しかし、今一番思うことは、リハセンでの仕事を通して出会った多くの方々から、人生の学びを得ることができたこと、そして、その出会いがあったからこそ、今まで大きく踏み外しもなくやってこられたのだと考えております。

この場を借りて、出会った方々に心より感謝致します。ありがとうございました。

定年退職にあたり皆様に感謝申し上げます

K. S

私は、平成9年リハセン開設と同時採用で、6月のオープンに向けて職員一丸となって準備し、ベースを築き上げて来ました。

当時私は認知症病棟配属で、患者さんの病気や家族を含め取り巻く環境を理解し、失われていく記憶やさまざまな症状、生活活動の障害に多職種と連携して意見交換し、看護のやりがいを感じる事ができました。

こうして無事に定年まで働くことができたのも、皆さんの支えがあったからこそと感謝し、今後の更なる発展を応援していきます。

